

市立  
小諸高原美術館・  
白鳥映雪館



山口マオの世界

—「わにわに」から宮沢賢治作「シグナルとシグナレス」まで—

絵本の「わにわに」シリーズや「マオ猫」で広く親しまれている絵本作家・山口マオ氏の展覧会を開催します。

本展覧会では、「わにわに」シリーズの原画、立体作品のほか、「宮沢賢治絵本シリーズ」（ミキハウス発行）で山口マオ氏が絵を担当した最新作「シグナルとシグナレス」の原画22点を含む約100点の作品を紹介します。

山口マオ氏の不思議な絵本の世界を存分にお楽しみいただけます。この機会に、ご家族でお出かけください。



- ▶会期  
11/28(日)～12/26(日)  
【11月】9:00～17:00  
【12月】9:00～16:00
- ▶会場  
第1・第2展示室  
市民展示室
- ▶観覧料  
一般 500円  
小中学生 250円

～第3回白鳥映雪作品ギャラリートーク～  
「菊慈童 美の創造」

- ▶日時 11/20(土) 13:30～
- ▶会場 白鳥映雪特別展示室
- ▶参加費 通常観覧料
- ▶講師 舟田均（白鳥映雪研究者）  
白鳥純司（小諸高原美術館・白鳥映雪館学芸員）
- ▶休館日 11/1(月)、8(月)、15(月)、22(月)～27(土)、29(月)

☎ 小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記



ホウジャク

漢字で書くと蜂雀。スズメガの仲間だが、とてもガには見えない。長い口を持つ変なハチといったたずまいだ。様々な種がいるけれど、生態はハチドリに似ていて、間違えられることもある。いずれも空中停止飛行をしながら、長い口で花の蜜を吸う。成虫で冬を越す種類もいて、ホウジャク類ということでは、春から秋遅くまで見られる。小諸では9月中旬から11月中旬にホシホウジャクやヒメクロホウジャクが特に多く見られる。

下向きに咲くセージ類のような花は、蝶はほとんど蜜を吸うことはできないけれど、ホウジャクなら下から長い口を花に差し入れて蜜を吸うことができる。去年、庭にローズリーフセージという花を植えてみた。セージ類は基本的に花の蜜を集めるハナバチに受粉を助けてもらうのだが、この花が咲いたのは10月末だった。その季節には、ハナバチ類は活動をやめてしまっていたのだが、ホシホウジャクは元気に活動していて花が咲くと同時にやってきて蜜を吸っていた。残念ながら小諸の気候ではこのセージは冬越しはできず、11月中旬に霜が降りると枯れてしまった。



ローズリーフセージの花の蜜を吸うホシホウジャク

運用代行サービスいたします! twitter facebook Instagram YouTube Google Youtube

これから始めるWEB広告

こんなお悩みございませんか?

WEB広告を出してみたいけど、何をすれば良いかわからない...

自社の商品・サービスをどうやってPRすれば良いかわからない...

そもそも良くわからないし、忙しくてやっつけられない...

様々な種類のSNS・WEB広告を一括サポートします!

Q1 どのくらい費用がかかるの?

1ヶ月の目安 一日1,100円～始められます!  
66,000円～(税込)  
※契約期間6か月以上の場合、6か月に満たない場合、初期費用が必要となります。

Q2 運用代行って具体的には何を?

●結果を分析し、予算の中で効率化します  
●利用開始の手続き  
●表示する広告原稿の制作(※制作する内容により、別途お見積り)など

A/C 地域情報&広告株式会社 アイク

小諸市御幸町2-12-1  
Tel.0267-23-4474  
www.aic-ad.co.jp